

17P（12月18日版）下から7行目～

公・私立学校の競争環境整備については、前回、意見を追加しそれを反映して頂いたところであるが、環境整備の方策についてまとめることを提案する。

- ・家庭における経済状況の格差が・・・中山間地域・島嶼部にかかわらず大きい。
私立高等学校については、各校が建学の精神に基づく独自の教育理念の下で教育を行い、県内の高等学校の特色ある教育を牽引するなど本県において求められる高等学校教育に果たす役割は大きい。
- 保護者の負担を考慮すると、公・私立高等学校の受け入れ比率を調整するよりも、例えば私立高等学校に対する補助金を増やすなど、公私立高等学校が同じ条件で競争できる環境を整えることが望ましいが、（保護者負担の格差の解消などの）環境が整うまでは、公・私立高等学校の生徒受け入れ比率の調整などが必要である。
- ・私立高等学校については、各校が建学の精神に基づく独自の教育理念の下で教育を行い、県内の高等学校の特色ある教育を牽引するなど本県において求められる高等学校教育に果たす役割は大きいが、国・公立高等学校・・・環境整備が必要である。

追加意見

広島県の高等学校教育の在り方がその方向性、人材像として整理されたところであるが、私立高等学校においては、建学の精神に基づき独自の方向性・人材像を定めることが役割として求められている。

文案（挿入箇所要検討）

求められる高等学校の方向性が人材像とともに整理されているが、私立高等学校においては、その特性を鑑み、自主性を重視し、それぞれの精神に基づき方向性と育成すべき人材像を定め、独自教育理念で特色教育を推進していくことが求められる。